

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。なお、紙面は要約してありますので、詳しくは11月下旬に配置予定の会議録または市議会ホームページをご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

山口 克己（政清会）

教育行政、福祉行政

西村 福也（公明党）

子供安心カード、インターネット依存、救急車の適正利用

千久田祐子（日本共産党野田市議団）

介護保険、教育行政、土木行政、災害対策

小室美枝子（市民ネットワーク無所属）

子宮頸がん予防対策、自治体で取り組む自然エネルギー設備の促進、局所的大雨（ゲリラ豪雨）の対策、耕作放棄地を拡大させないための取り組み

石原 義雄（民主連合）

教育行政、野田市パブリックゴルフ場経営の見直し

長南 博邦（新社会党）

自治体合併10年と住みよいまちづくり、のだ元氣市場と移動販売車、教育長の野田市の教育の現状認識と抱負

染谷 信一（政清会）

防災、東武野田線高架事業、健康増進活動

内田 陽一（公明党）

市民へのサービス向上、暑さ対策、野田市NPO・ボランティアサポートセンター、ゲリラ豪雨被害・突風被害、防災行政、災害時の情報伝達、野田市の観光、教育行政

遠藤 達也（みん清クラブ）

公用車一元化、防災備蓄、被災時の女性トイレ、いじめ防止条例、いわゆる障害者優先調達推進法

織田 真理（日本共産党野田市議団）

保育所の民間企業参入、保育所の設置形態、食品の放射能検査、継続的な放射能測定及び除染、森林の測定及び除染、小・中学校のエアコン導入、水害対策

岡田早和子（市民ネットワーク無所属）

（有）柏廃材処理センターの火災事故及び健康被害調査等、防災無線・まめメール・ツイッターの緊急時の機能と防災無線の乱用、原発事故子ども・被災者支援法、放射能対策、老朽化した児童館の整備及び職員配置・危機管理体制、保育所・幼稚園・学校でのクーラー設置

松本 睦男（日本共産党野田市議団）

市長の政治姿勢、新防災計画、地域排水、動物愛護管理推進

従来のパーソナル・サポート・モデルプロジェクトとの違いは

山口 克己議員

■質問 市では平成27年度からの国のモデル事業実施に先行し、生活困窮者自立促進支援に取り組んでいるが、これまでのパーソナル・サポート・モデルプロジェクト事業との違いを伺う。

□答弁 昨年度までは相談支援事業が中心だったが、今回は、相談支援について、訪問支援に重点を移し、さらに、相談支援事業及び就労促進事業や家計相談支援事業などが加えられ、これらを一つのパッケージに

し、相談支援事業は必須の実施事業、その他の事業については地域の実情に応じて任意で実施する形になった。市では、相談支援事業に加え、家計相談支援事業を実施し、手順についても、これまで相談者と相談支援員が話し合いをした中で、支援計画をつくっていたが、今回は相談者と相談支援員でつくった支援計画案について、行政と他の支援関係機関が参加する支援調整会議というものをつくり、そこで検討した上で行政のほ

インターネット依存対策について

西村 福也議員

うで支援決定をするという形になった。事業主体としてこれまで行ってきたものがオンライン化されたことになったと思うているが、パッケージの中にまだ実施していない事業が幾つかあるため、それらについては今後の課題として他の自治体のものも見ながら検討していきたい。

■質問 インターネット依存の問題点は、昼夜逆転による不登校や成績低下などばかりでなく、睡眠障害や鬱症状になるなど精神面でのトラブルを引き起こす。また、視力低下などの身体症状も招くとされているが、今後の依存対策について当局の見解を伺う。

□答弁 インターネット依存対策において大切なことは、教師と保護者が情報モラルを正しく理解した上で子供たちのインターネット利用に向き合うことだと考えている。その際、家庭において約束事を決めることや、学校で適切な使い方の指導をするなど、家庭と学校が足並みをそろえ、両輪

で指導に当たらなければ効果が上がらないと考えている。このため各学校には情報教育担当者や、夏季休業期間中には情報モラル指導者育成研修会を開催し、校内研究会等において積極的に活用するよう依頼している。これらの取り組みの継続や充実を通じ、教師や保護者の理解を深めるとともに、学級懇談会や個人面談等において今後も学校と家庭との連携が有効に図られるよう努めていきたい。また、日常生活においても子供の様子をよく観察し、変わった様子があった場合には、保護者との連絡を密にとり、早期の対応ができるよう努めていきたい。

一般質問

地域支援事業に対する

市の考えは

千久田祐子
議員

■質問 厚生労働省は、9

月4日、介護保険で要支援と認定された高齢者への予防給付を廃止する方針を打ち出した。市町村の判断で多種多様な事業体による重層的なサービス提供を目指すとしているが、このことに対する市の考えを伺う。

□答弁 国は社会保障制度改革国民会議の報告を受けて、次期介護保険事業計画に反映させるために現在法案提出に向けて議論を進めている。その中で介護保険制度の持続可能性や負担の

公平性の観点から、一定以上所得のある利用者の負担を引き上げ、施設入所者の利用者負担については、ストックについても勘案する。

また、特養については、重度者に重点化を図る等が述べられているが、介護の仕事についてはお金がかかるのは当然であり、社会化の流れもとめられないからこそ消費税増税が必要だと思っている。その増税部分をどのようにしてこの介護保険の中に組み込んでいくかが一番大切であり、介護の

自治体で取り組む 自然エネルギー設備 の促進について

小室美枝子
議員

社会化を進めるために、この消費増税を機に国庫負担金の負担率を引き上げていく中で現在の事業を進めていくことが筋だと思っている。第6期介護保険事業計画の地域支援事業の中で今までのサービス水準を落とさず、財源論の話とマンパ

ワーも含めて検討していきたいと考えている。

■質問 原発に依存しないエネルギー政策に転換すべきと主張してきたが、自治体として取り組む対象として太陽熱温水器を提案する。理由は、一旦電気に変える太陽光発電に比べ、熱エネルギーでそのまま湯を沸かす温水器は、エネルギー交換率が高く費用も安価であり、災害対策としても有効だと考えるが当局の考えは。

□答弁 太陽熱温水器は、規模や性能の違いにもよるが、イニシャルコストでは物によって太陽光発電システムの設置に比べ100万円以上安価に設置できると思われる。市としては、一般家庭のさらなる省エネ

ギー化を実現するため、県の補助金を活用し、エネファームの愛称で呼ばれている家庭用燃料電池システムなどの設置者に対し補助できるよう今議会に補正予算を計上しており、再生可能エネルギーへの取り組みとともにエコ住宅の普及拡大も重要であると認識しているところである。当面太陽光発電に加え、家庭用燃料電池システムなどのシステムの普及に力を入れ、太陽熱温水器については今後国・県の施策や、国の補助の動向とシステムの利便性の向上及び現在補助金を交付している他市の状況等を踏まえて見きわめていきたい。

■質問 国においては、い

じめを苦にした自殺事件を契機に、いじめ防止対策推進法が成立した。法整備でも弁護士や精神科医などの専門家で構成する第三者委員会の設置の必要性が盛り込まれているが、市としてはどのように受けとめているか。また、条例制定に向けての見解を伺う。

□答弁 第三者委員会につ

いては、児童生徒の生命や心身または財産に重大な被害が生じた疑いのあるもの及びいじめにより相当の期間学校を欠席することを余

第三者委員会設立と

いじめ防止対策条例化の考えは

雄義
議員
石原

儀なくされている疑いのあるものが生じた場合に、教育委員会または学校のもと

に組織を設け、事実関係の調査等を行うこととされている。市においてもそのよ

うな事態が生じた場合、その事案の内容に即し、必要な第三者を含めた組織により対応することが当然必要だと考えている。地域や関係機関と連携していじめ防止に全力を尽くしていき、

条例制定については、県や他の自治体の動向等を注視しながら検討していきたいと考えている。



さまざまな会議での情報交換

■質問 関宿地域の人口は、合併10年で3千200人弱も減少し、2万8千人台になってしまった。合併特例債を使い、六丁四反水路などの排水対策や次木親野井土地区画整理事業などを手がけたが人口減は続き、今後も減少が続くと予測されるが市はどのような対策を打つのか見解を伺う。

□答弁 合併の際に作成した新市建設計画に基づき各種事業や整備を行い、平成25年度までに旧野田市で81億円、旧関宿町で72億円とバランスをとって投資をし

関宿地域の人口減少問題対策は

長南 博邦議員

てきたと思っている。サービスの水準を落とさないとという基本方針の中で、旧関

宿町のサービスが相当アップしたと思っており、施設の整備が進み満足度も上が

ってきているが、人口が減っていることは事実である。今後バス交通をどのようにしていくか考えるとともに、雇用の場をどうにか確保していくことが一番大切な話だと思っている。具体的には、関宿のまちの中には空き工場や工場跡地が多く見られることから、そういったところをうまく活用でき

今後の防災計画について

検討すべきことは

一 信 染谷 議員

■質問 今後の防災計画に対し、検討すべきことや市民の要請にどのように応えていくのか。また、今回の自然災害を受けて今後見直す点や課題等について伺う。

□答弁 今後の防災計画に対し検討すべきことは、新地域防災計画の予防計画の中で定めており、知識の啓発が重要であると考えている。竜巻や局地的な大雨の対策は、まず、ふだんから竜巻等の前兆を知り、避難行動として自分の安全は自分で守ることが必要であり、

防災組織体制の整備を

内田 陽一 議員

いきたいと考えている。市では、このような災害が発生した際も人的な被害を出さないことを目的とし、市民の竜巻や局地的な大雨に対する意識の向上を図るためホームページ等を活用し、災害について注意すべき情報等を提供していきたい。

■質問 現在、市には防災対策室は設置されていないが、防災対策室的な一元化した組織が必要であり、早期に組織の見直し等の強化策を打ち出すべきでは。

□答弁 新地域防災計画は、東日本大震災を踏まえて、地域防災力の強化に向けた取り組みを推進するために市民生活課が所管課として作成した。災害時には市民生活課にとどまらず、新地域防災計画の応急活動体制に基づき、全組織が災害等の対応に当たることになっている。市民生活課の体制は、東日本大震災により防災の重要性が高まったことから、今年度から防犯防災係を防犯係と防災係に分割



北部小学校における竜巻被害(9月2日撮影)

防災備蓄の強化を

遠藤 達也 議員

■質問 今年度の防災備蓄の進捗状況と、今年度末の備蓄見込みは。また、今後の防災備蓄の計画などの指針を伺う。

□答弁 新地域防災計画に

基づいて、地震発生後4日目からは救援物資が届く想定で3日間分の備蓄を行い、市民が自宅から持ち出す分として30%、県の10%を除いた分の設定である。今年度の備蓄状況と今年度末の見込みは下記のとおりで、最終的な目標数に不足する分は今後4年間で整備する。

防災備蓄の進捗状況と今後の見込み

品目	単位	H24.7	H25.3	H26.3	H30.3
非常食	食	32,000	33,000	34,300	96,543
保存飲料水	ℓ	13,000	11,000	8,300	59,012
毛布	枚	1,000	1,500	2,000	16,858
簡易トイレ	個	147	197	247	536
防水シート	枚	395	1,600	1,600	6,243
救急医療器材	セット	6	6	6	6
発電機	台	18	18	18	18
敷きマット	枚	350	850	1,420	1,420
レスキューシート	枚	630	1,750	2,870	2,870
便処理袋	枚	1,860	3,860	4,860	4,860
女性用衛生用品	袋	96	96	466	710
大人用おむつ	袋	48	48	168	168
乳児用おむつ	袋	36	36	126	126
哺乳瓶	本	80	80	260	260
三角巾	枚	150	150	450	450
石油ストーブ	台	0	22	43	43
ウェットティッシュ	袋			365	365
おかゆ	食			1,500	21,244
粉ミルク	食			600	

* 保存水は期限切れなどにより備蓄が減った。
* 防水シートは一部竜巻被害で使用した。
* 今後の数値は変更する可能性あり。

市全体の地域防災力の向上には、市民、事業所、自主防災組織と行政等がそれぞれの役割を分担・協力して行う、自助・共助・公助の連携が不可欠である。

小・中学校にエアコン設置を

織田 真理 議員

■質問 今年の梅雨明け後の暑さは異常で、体温より高い気温が続く、早退する子供も多くいたと聞いている。流山市では全小中学校の教室へのエアコン設置が決まった。子供たちの学習意欲を高めるためにも全教室にエアコンを設置すべきでは。

□答弁 引き続き省エネの観点からの暑さ対策を進めるとともに、国の電力政策の動向や電力需要及び流山市等の近隣市の設置状況等を踏まえて今後検討する。

まずは、重点課題であり、現在進めている子供たちの安全確保のための学校や保育所の耐震化を進めていきたいと考えている。近隣市の状況は、流山市以外に鎌ヶ谷市も予定していると聞いているが、松戸市は平成27年の耐震工事後に後に設置を進める予定であり、我孫子市は26年度の耐震工事後に後に普通教室や特別教室への設置を検討していると聞いている。また、柏市については予定はないという状況である。



保健室に設置されているエアコン

■質問 県の改善勧告（施設の維持管理の見直し等）

が出ている中、8月29日に（有）柏廃材処理センターから

今回2度目の火災事故が発生し、地元では、ひどい化学臭の蔓延があったと聞いている。火災当日とその後健康被害の状況はどうだったのか。また、原因究明に向けての市の取り組みと

今後の県への働きかけを聞きたい。

□答弁 今回の火災により、

(有)柏廃材処理センター

火災事故の原因究明を

岡田 早和子 議員

発生通報以外なかった。なお、火災により有害物質等が発生することは、当該

複数の被害者の会の方の体調不良が発生したと聞いているが、市への通報は火災

された方もいることから引き続き地域住民の健康状態について情報を収集していきたい。2度の火災を引き起こした事業者であることから、県に対し厳しく原因追及と今後の取り組みを求めるよう要望した。また、県の現地調査にも同行し、視認される不備等を逐一報告し、改善を求めている。

県も事業者の取り組みが全て確認できるまで再稼働を認めない方針で対応すると聞いている。ただし火災が事故である以上、法的な要件が整えば再稼働は認められると聞いており、操業に伴う種々の問題について今後県の勧告に対する同社の対応等を見きわめた上で対応していきたい。

議会を傍聴してみませんか

本会議の傍聴を希望する方は、本会議当日、市役所低層棟5階の傍聴受付までお越しください。

開議予定時刻の10分前から随時、受け付けを行っております。定員は74名です。(うち2名は車いす専用)

常任委員会等の傍聴を希望する方は、委員会当日、市役所低層棟3階の議会事務局までお越しください。委員長の許可により傍聴が可能です。



傍聴席から見た議場

インターネットで本会議の生中継・録画放送がご覧になれます

インターネットに接続することにより、ご自宅でも本会議の様態をご覧になることができます。放映は本会議のみで、生中継と録画放映を行っています。録画放映は、本会議開催日のおおむね3日後(土・日・休日は日数から除く)から視聴できます。

議会中継を視聴する場合には市議会ホームページの「議会中継」をクリックし、ご不明な点は、操作方法等をご覧ください。



市議会ホームページの「議会中継」

■質問 地震の被害を減少させるには災害に結びつく危険因子を地域の実態に即して一つ一つ具体的に取除き、改善を図ることが必要である。新地域防災計画には被害を軽減する計画目標が設定されておらず、災害発生を抑制する予防対策の進め方が見えてこない。予防対策の推進について具

体的に示していただきたい。
□答弁 被害を発生させない都市空間の整備や強化等

減災への具体的な取り組みは

松本 睦男 議員

の考え方は従前の計画と基本的に同じだが、自助・共助・公助の考え方を明確に

燃化の促進では、建築物が密集し、被害が生じる恐れのある地域において耐火建

築物、または準耐火建築物の建築を促進する。防火空間の整備拡大では、防災都市づくりの一環として公園への防災施設の整備や火災に強い樹木の植栽など防災効果の高い公園の整備に努めるほか、緊急輸送路や延焼を防ぐ防災空間として重要な役割を果たす都市計画道路のさらなる整備を促進

請願・陳情のご案内／12月定例会のご案内

請願・陳情をされる方へ

要望等を市政に直接反映させるための方法として、どなたでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

提出された請願・陳情は郵送及び市外からの陳情を除き、市議会で慎重に審査（原則として本会議で上程し、委員会に付託）した後、最終的な結論（採択・不採択）を出して提出者に通知します。

採択した請願・陳情で、執行機関で処理することが適当なものについては、市長や関係機関に請願書・陳情書を送付し、その実現に努力するよう求めます。

書式例

- ☐
 受付は随時行っていますが、12月定例会の場合、12月2日までに提出されたものを審査することになります。その後に提出されたものは、次回の定例会で審査することになります。
- ☐
 請願書・陳情書には趣旨と項目、提出年月日、住所、氏名（団体の場合は名称と代表者名）を記載したものを市議会議長宛てに提出してください。請願書には紹介議員の署名が必要となります。
- 提出に際しては、事前に議会事務局までお問い合わせください。
- 【問合せ先】** 04-7125-1111（内線3314）

○○○請願（陳情）
 （請願、陳情しようとする件名）

紹介議員 ○○○○（陳情は不要）

請願（陳情）趣旨

請願（陳情）項目

平成○○年○月○日
 （宛先）野田市議会議長

請願（陳情）者
 住所 ○○○○○○○○
 氏名 ○○○○

12月定例会のお知らせ
 12月3日（火）に開会の予定です

日程は、11月27日（水）に開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。

日 程	開議予定時刻	会議予定	主 な 会 議 内 容
12月 3日(火)	午前10時	本会議（開会）	会期の決定、議案上程、市政一般報告
10日(火)	午前10時	本会議	議案質疑、委員会付託
11日(水)	午前10時	本会議	一般質問
12日(木)			
13日(金)			
16日(月)	未 定	常任委員会	議案等の審査
17日(火)			
20日(金)	午前10時	本会議（閉会）	委員長報告、質疑、討論、採決

定例会の日程は市議会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.gikai-nodacity.jp>